

すさみ^{ちよう ぼう さい}町防災まちづくりの^{すい しん}推進

(^{ぼう さい}防災・^{あん ぜん}安全)

(第2回変更)

すさみ町

平成28年 3月23日

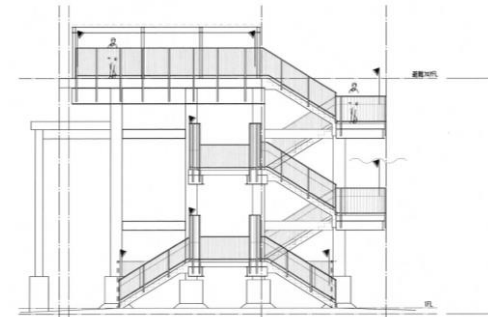
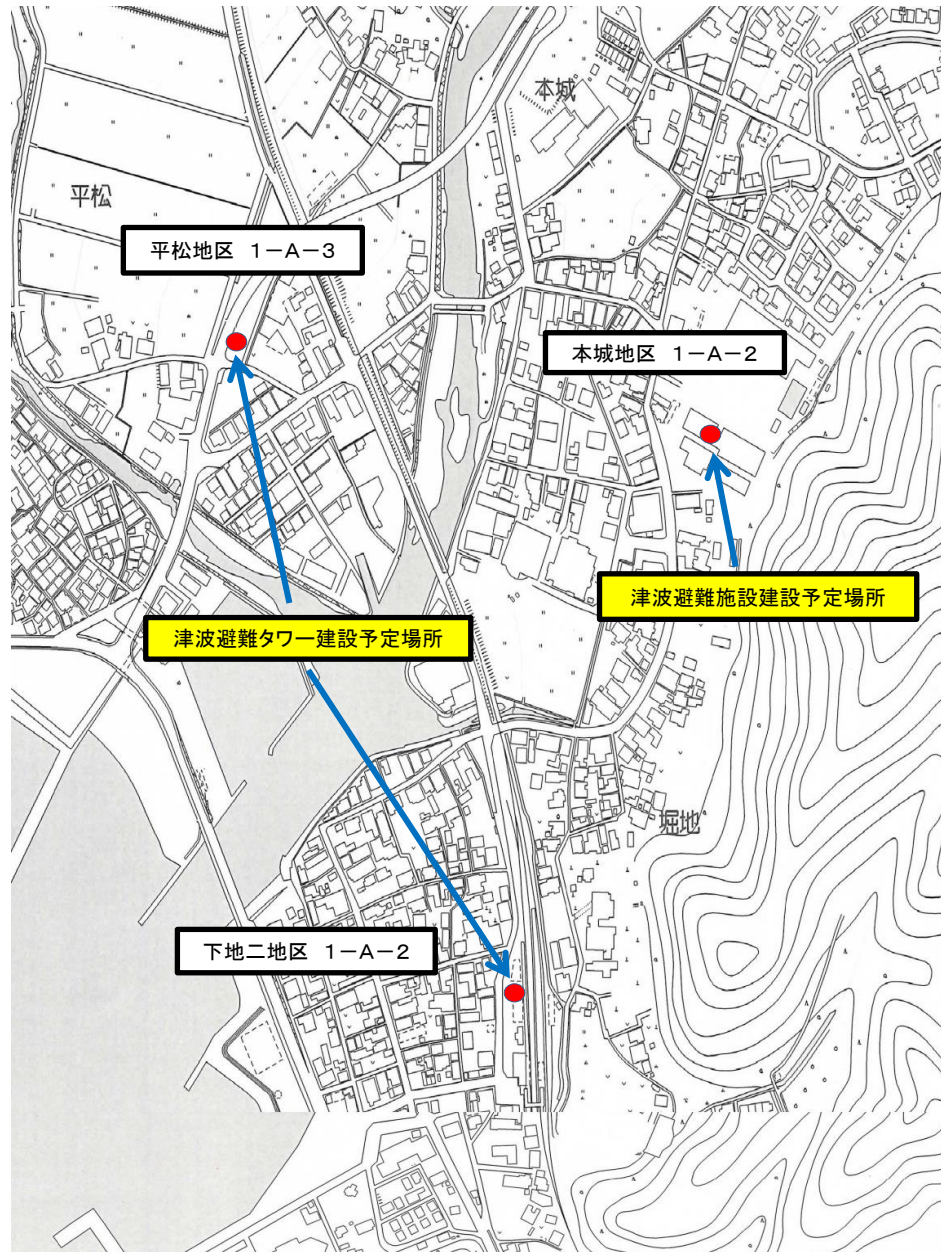
社会資本総合整備計画(市街地整備)

平成28年3月23日

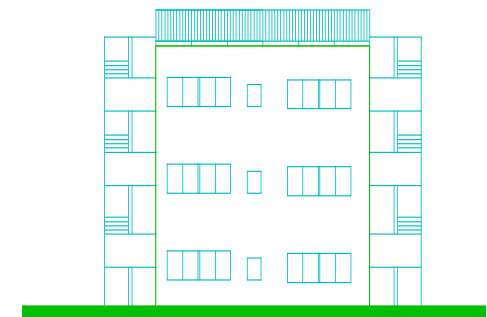
計画の名称	1 すさみ町防災まちづくりの推進(防災・安全)														
計画の期間	平成26年度～平成28年度(3年間)					交付対象	すさみ町								
計画の目標	<p>すさみ町は、紀伊半島の南西に位置し、人口の約9割が太平洋沿岸に居住している。</p> <p>昨今、南海トラフ巨大地震による被害が危惧されているところであるが、すさみ町においても、平成24年8月に内閣府が公表した南海トラフ巨大地震による最大震度は震度6強、津波高は和歌山県下最大の約20m、また、平成25年3月に和歌山県が公表した津波想定においても、津波高は県下最大の19m、浸水深は最大10m以上、津波到達時間は最短で3分となっており、甚大な被害が予測されることから、その対策が急務となっている。また、近年全国各地で集中豪雨による土砂災害や浸水害が発生していることから、これらへの対策も急務となっている。</p> <p>こうしたことから、本計画では町民の生命と安全安心を確保するため、防災基盤の整備、地震津波対策を講じるものである。</p> <p>なお、すさみ町は平成26年3月に『南海トラフ地震防災対策推進地域』及び『南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域』に指定されている。</p>														
計画の成果目標(定量的指数)	高台への避難が難しい地域に津波避難施設を整備するとともに、小学校付近には土砂災害や浸水害時にも対応した避難施設を整備し、住民の安全を確保する。														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考			
									当初概況値	中間目標値	最終目標値				
									(H26年度当初)	(H27年度末)	(H28年度末)				
	下地二地区の対象区域における津波に対する避難可能な人数の割合								0%	100%	100%				
	本城地区の対象区域及び周参見小学校児童等の津波及び風水害等に対する避難可能な人数の割合								0%	100%	100%				
	平松地区の対象区域における津波に対する避難可能な人数の割合								0%	0%	100%				
全体事業費	合計(A+B+C)	494.4百万円	A	494.4百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)		0.0%				
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-A-1	防災	一般	すさみ町	直接	すさみ町	都市防災総合推進事業(下地二地区)	津波避難タワー(高さ約10m、約100㎡)	すさみ町						114.4	
1-A-2	防災	一般	すさみ町	直接	すさみ町	都市防災総合推進事業(本城地区)	津波等避難施設(高さ約10m、約705㎡)	すさみ町						285.0	
1-A-3	防災	一般	すさみ町	直接	すさみ町	都市防災総合推進事業(平松地区)	津波避難タワー(高さ約10m、約50㎡)	すさみ町						95.0	
合計												494.4			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより、期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより、期待される効果										備考				

市街地整備

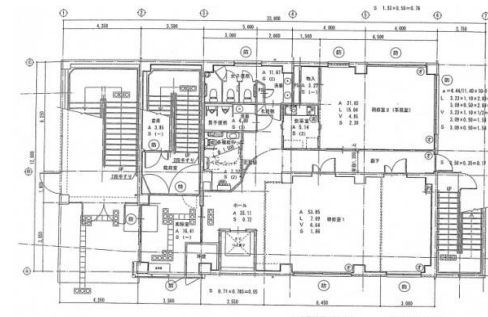
計画の名称	1 すさみ町防災まちづくりの推進(防災・安全)	交付対象	すさみ町
計画の期間	平成26年度～平成28年度(3年間)		



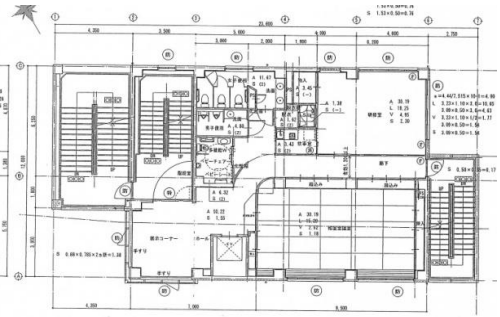
1-A-1
1-A-3
津波避難タワー



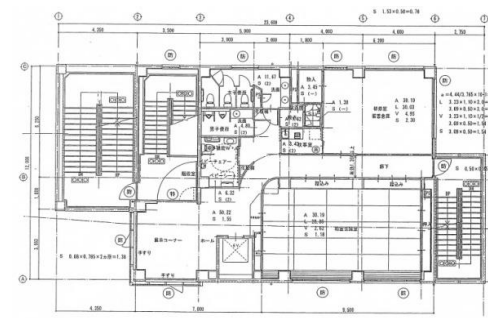
1-A-2
津波避難施設
概要図



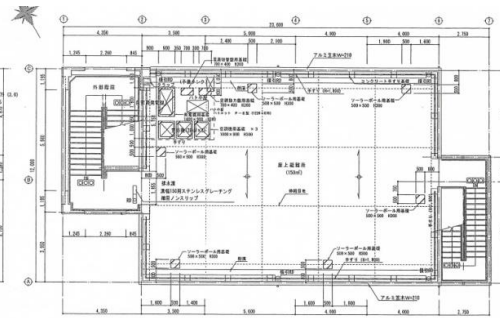
1階 平面



2階 平面



3階 平面



3階屋上 平面図

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: すさみ町防災まちづくりの推進(防災・安全) 事業主体名: すさみ町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	✓
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	✓
2)災害に強いまちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	✓
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	✓
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	✓
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	✓
4)指標・数値目標が町民にとって分かりやすいものとなっている。	✓
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	✓
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	✓
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	✓
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)災害に強いまちづくりに向けた機運がある。	✓
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	✓
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	✓
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	✓
2)計画について住民等との間で合意が形成されている。	✓